



PRESS RELEASE

2021年2月12日13:30情報解禁

中川政七商店初の複合商業施設・まちづくりの拠点 「鹿猿狐ビルディング」4月14日グランドオープン

中川政七商店 奈良本店、猿田彦珈琲、彘つね、JIRIN



路地を巡り出会う、
触れ、学び、味わう奈良。

猿沢の池越しに興福寺の五重塔を望み、少し坂を登れば春日大社、鹿がのんびり草を食むその奥には

大仏様のいらっしゃる東大寺という、古き良き古都奈良の風景。

そのほど近く、細い路地が入り組んだ迷路のようなならまち元林院町にて、

中川政七商店は300有余年商いを続けてまいりました。

その創業の地に2021年春、新しい集いの場が生まれます。

中川政七商店の鹿、猿田彦珈琲の猿、彘つねの狐。

3匹が集うこの建物を我々は「鹿猿狐ビルディング」と名付けました。我々が共に志すのは、
古きを学び進化し続けること。ふと気がつけばこの奈良という街もそうした進化を繰り返してきた場所です。

古の歴史の深さを垣間見せながら、同時におおらかで新しい。

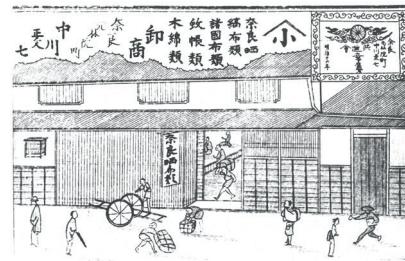
奈良に住もう人も訪れる人も、足を踏み入れた路地の先々で、そんな今の奈良に出会っていただけると思います。

1716年創業の奈良の老舗・株式会社中川政七商店(所在地:奈良県奈良市 代表取締役社長 十四代 千石あや)は、2021年4月14日(水)、同社初の複合商業施設「鹿猿狐ビルディング(しかざるきつねびるぢんぐ)」を奈良市元林院町(ならまちエリア)に開業いたします。

約126坪の敷地面積に3階建ての同施設を設計するのは、日本を代表する建築家の一人、内藤廣氏。施設内には、創業の地に満を持して構える旗艦店「中川政七商店 奈良本店」、関西初出店となるスペシャルティコーヒー店「猿田彦珈琲」、ミシュラン一つ星掲載店による初のすき焼き店「㐂つね(きつね)」、まちづくりの拠点となるコワーキングスペース「JIRIN(じりん)」を展開します。また同施設とともに巡っていただけるよう、近隣の「遊 中川 本店」「茶論 奈良町店」もリニューアル。築100余年の町家の貯蔵庫を改装した「時蔵」や「布蔵」とともに、中川政七商店の歴史を辿っていただけます。

中川政七商店がつくる、新しい奈良の拠点

江戸時代中期、中川政七商店は麻織物「奈良晒」の問屋として奈良に創業し、日本の工芸をベースにした生活雑貨をつくり続けてきました。その中で、近年進めてまいりました産業観光の取り組みを、創業の地である奈良で実現すべく、まちづくりの拠点となる複合商業施設をオープンいたします。コンセプトは、“路地を巡り出会う、触れ、学び、味わう奈良”。この場所でしかできない買い物や飲食、ワークショップなど様々な体験型コンテンツをご用意し、奈良に暮らす方および国内外から訪れる方が、より一層奈良の魅力を感じていただける拠点を目指します。



街並・伝統・現代・近未来を建築として表現

約126坪の敷地面積に3階建ての同施設を設計するのは、日本を代表する建築家の一人、内藤廣氏。開放的なガラス窓と周囲の街並みを活かした瓦屋根が特徴の建物の中央には、中庭とそこにつながる新たな路地が創られ、古きよき趣が残る「ならまち」の風景に溶け込んだ新たな空間が生まれます。



建築について(内藤廣氏／建築家・東京大学名誉教授)

まず考えたのは、街並・伝統・現代・近未来を建築として表現する、ということです。屋根を瓦葺きにし、通りに面した軒庇を細かく分節化して、ファサードを街並みと違和感がないように作り込んでいます。建物は3階建てなので鉄骨造ですが、この架構には高度な現代技術を駆使しています。柱間の寸法を伝統的な建物で使われる3.6m(二間)にして柱を細くすることができたので、内部の空間も周りの木造の建物の空間に調子を合わせた雰囲気になるはずです。

街並みに合わせた瓦屋根と現代技術を駆使した繊細な鉄骨造、これがわたしたちが目指したこの建物の特徴です。でも街それ自体がそうであるように、建物はここでの飲食やお店などのさまざまな活動が営まれる背景しかありません。歴史を紡いできたこの街の一角から、近未来を感じ取れるような「今」という背景を生み出すことができたら、と思っています。



【触れる】創業の地 奈良で、原点、軌跡、今を巡る

中川政七商店 奈良本店（1、2階）

創業の地に満を持して構える旗艦店は、中川政七商店の原点、軌跡、今を巡っていただける場所。創業の商いである手縫み手織り麻のものづくりに触れられる「布蔵」や、300余年の歴史をアーカイブ展示する「時蔵」、そして800を超えるつくり手と生み出す約3000点の商品に出会える「中川政七商店 奈良本店」。300年の歴史が紡いできた、いまの暮らしに寄り添う暮らしの道具を手に取っていただけるとともに、本店でしか購入できない限定品など奈良を訪れる記念となるような商品をご用意しています。施設全体を通して、中川政七商店がつくる暮らしの道具の根底にある、奈良という土地から生まれた価値観や美意識を感じていただけます。



【味わう】歴史的街並みの中で、究極の一杯を楽しむ

猿田彦珈琲（1階）

「たった一杯で、幸せになるコーヒー屋」をモットーに、東京・恵比寿にて創業したスペシャルティコーヒー専門店。創業者である大塚朝之氏が自ら厳選した高品質のコーヒー生豆を、独自の知見と技術を生かし、焙煎から抽出までこだわりと誇りをもって提供しています。関西初出店となる同店は、開放的なガラス窓に面した空間が特徴。古きよき趣が残る街並みの中で、究極の一杯をお楽しみください。



【味わう】温故知新のすき焼きと弁当を味わう

㐂つね（1階）

東京・代々木上原にあるミシュラン一つ星掲載店「sio」による初の、すき焼きをメインにコースでお召し上がりいただくれストラン。これまでのすき焼きをアップデートする温故知新的料理をはじめ、食を通じて奈良で過ごすひとときに感動をお届けします。観光の合間やランチ代わりに気軽に楽しんでいただけるよう、お弁当のテイクアウトもご用意しています。



【学ぶ】奈良の工芸に触れる体験

手縫み手織り麻の絵はがきを制作するワークショップや、麻生地づくりの道具に触れられるツアーなど、奈良の工芸や歴史、文化に触れる体験型コンテンツをご用意しています。

<コンテンツ例>

- ・麻生地にステンシルを施し、オリジナルはがきを制作
- ・麻生地づくりの道具を実際に触り、使うことでものづくりの工程や奥深さを体験



【学ぶ】まちづくりの礎になる学びの場

3階の「JIRIN」は、中川政七商店による初のコワーキングスペース。奈良に魅力的なスマールビジネスを生み出す「N.PARK PROJECT」の拠点として誕生した、共に働き、共に学ぶ場です。興福寺の五重塔を臨む窓が広く心地よい空間には、BACH・幅允孝氏が選書したライブラリも用意。中川政七商店が企画する経営講座やトークイベントなど、奈良での創造的な活動を支援するプログラムを開催予定です。【URL】n-park-project.jp/jirin/



近隣施設

鹿猿狐ビルディングとともに巡っていただけのよう、築100余年の町家を活かした近隣施設も店内をリニューアル。「遊 中川 本店」では日本の染織技術に支えられた服や服飾小物などが四季折々に並びます。「茶論 奈良町店」では観光の合間にほっと一息過ごせる喫茶を、また貯蔵庫を改装した「時蔵」「布蔵」では、中川政七商店の歴史を体験いただけるコンテンツをご用意しています。



遊 中川 本店

中川政七商店初の直営店として1985年にオープンした空間は、「中川政七商店 奈良本店」の一部としてリニューアルします。



茶論 奈良町店

茶道の新しい楽しみ方・学び方を提案する「茶論」は、季節の美味しいお菓子・選りすぐりのお茶をご提供します。



時蔵・布蔵

中川政七商店の300年の歴史がアーカイブされる「時蔵」と、手縫み手織り麻の道具に触れられる「布蔵」を公開します。

施設概要

施設名：鹿猿狐ビルディング

開業日：2021年4月14日（水）グランドオープン

テナント数：4店舗（中川政七商店 奈良本店、猿田彦珈琲、㐂つね、JIRIN）

※近隣に「遊 中川 本店」「茶論 奈良町店」「時蔵」「布蔵」あり

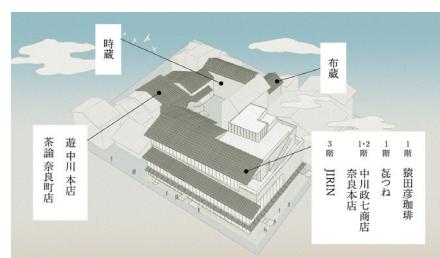
所在地：奈良県奈良市元林院町22番（近鉄奈良駅より徒歩7分）

設計：内藤廣建築設計事務所

敷地面積：126.98坪（419.06m²）

延床面積：241.16坪（795.84m²）

施設URL：<https://nakagawa-masashichi.jp/shikasarukitsune/>



＜画像データは下記よりダウンロードいただけます＞

<https://bit.ly/3a5nBL6>

＜メディア関係者様お問合せ先＞

株式会社中川政七商店 広報 佐藤菜摘、木原芽生

080-3464-4622（佐藤） kouhou@yu-nakagawa.co.jp

【ご参考資料】中川政七商店のまちづくり「N.PARK PROJECT」について

1716年に奈良晒の問屋業を始めて以来、中川政七商店は奈良で商いを続けています。工芸をベースにしたものづくりに取り組み、また工芸メーカーの経営コンサルティングや合同展示会の開催など、あらゆる方面から工芸に携わってきました。そんな中川政七商店は今、「N.PARK PROJECT(エヌパークプロジェクト)」と名付けた奈良のまちづくりに取り組んでいます。一見すると全く関係がないように思える「工芸」と「奈良のまちづくり」について、その背景をご説明いたします。

【公式サイト】<https://n-park-project.jp/>

すべてはビジョンのために

中川政七商店は、「日本の工芸を元気にする!」というビジョンを掲げ、3つの事業を展開しています。

工芸業界初のSPA(製造小売り)業態を確立し全国に約60の直営店を展開するSPA事業。業界特化型の経営コンサルティングや教育講座、合同展示会「大日本市」などを行う産地支援事業。そしてこの度、創業の地である奈良のまちづくりに取り組む事業として「N.PARK PROJECT」を開始いたしました。



奈良で「産業観光」のモデルケースをつくる

現在の工芸品産地出荷額は900億円と、1980年代の5,500億円をピークに6分の1程度まで低迷しています。工芸の復活には、ものづくりだけでなく、それを生み出す産地自体が活性化することが必要。中川政七商店は、産地へ人を呼び込む「産業観光」を奈良で実現し、モデルケースとなることを目指しています。

産業観光では、ものづくりの現場に触れられるワークショップや工房見学をはじめ、わざわざ足を運びたくなるような飲食店や心地よい宿など、複数の魅力あるコンテンツが必要です。複合商業施設「鹿猿狐ビルディング」は、こうしたスマートビジネスを加速させる拠点として、奈良の地にオープンいたします。



N.PARK PROJECT

「スマートビジネスで奈良を元気にする!」をビジョンに掲げるN.PARK PROJECTは、スマートビジネスに必要な要素を体系的に学び、実践することを総合的にサポートするプロジェクトです。

鹿猿狐ビルディングの3階に生まれるコワーキングスペース「JIRIN」は、これまで同社が積み重ねてきた事業のノウハウを提供し、こうしたスマートビジネスが数多く生まれる拠点として誕生します。

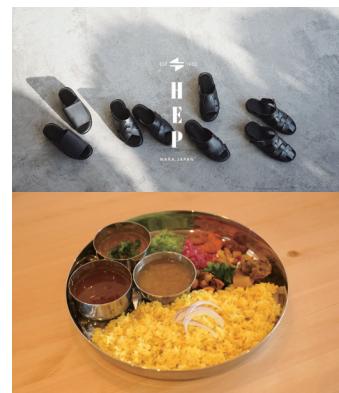


奈良で誕生したスマートビジネス例

奈良では、魅力的なスマートビジネスが次々と誕生しています。これらをより加速させ、奈良を魅力ある都市に導き、そして何より日本の工芸を元気にするために、中川政七商店はまちづくりをスタートいたします。

◆奈良で誕生したスマートビジネス例

「HEP(へっぷ)」…履物産地・奈良で創業した川東履物商店が2020年に立ち上げたヘップサンダルブランド。現在は全国のセレクトショップを中心に人気を博しています。(中川政七商店主催の経営講座への受講をきっかけにブランドデビュー) <https://hep-sandal.jp/>
「菩薩咖喱(ぼさつかりー)」…奈良出身の店主が2020年にオープンしたスパイスカレー店。オープン後には連日行列の絶えない人気店となり、3年で目指した売上目標を2か月で達成し、順調な滑り出しに。(N.PARK PROJECTの第1号として経営およびブランディングアドバイスを実施) <https://bosatsucurry.com/>



画像データは
下記よりダウンロードいただけます。



<https://bit.ly/3a5nBL6>